

服部泰直学長が寧夏を訪問しました



9月13～16日、寧夏大学創立60周年記念式典への招待を受け、服部学長が寧夏回族自治区銀川市を訪れました。

記念式典に先立って行われた学長フォーラムでの招待講演では、今後の寧夏大学との協力関係について、当研究所を核とする研究交流、同窓会組織を活用した学生交流の推進、自治体間連携を活用した大学交流の推進を3つの柱として挙げ、約220名の聴衆にアピールしました。

その他、学生交流会の開催や当研究所関連教員との懇談、寧夏医科大学の訪問等、精力的に交流活動を行いました。今回の服部学長の訪問により、寧夏における本学及び当研究所の存在感がより強まったと感じています。

※詳細はHPで <http://www.ningxia.shimane-u.ac.jp/topix.html>

第16回日中国際学術セミナーを開催しました

11月17～19日、第16回目となる日中国際学術セミナーを島根大学で開催しました。今回は、全体テーマを『エコロジカルな地域社会の形成へ向けた日中国際共同研究の可能性』とし、経済成長後の大きく変容した社会のあり方、環境に配慮した社会のあり方に関して、技術面での対応、社会経済面からの分析等を中心に、日中双方から34の報告がなされました。最終日には、2つのグループに分かれてテーマに合わせた現地視察を行い、環境に配慮した地域社会の取り組みや、農業技術センター等を見学しました。

本セミナーが契機となり、今後の国際共同研究に発展することを期待します。



※詳細はHPで <http://www.ningxia.shimane-u.ac.jp/topix/20181117seminar.html>

中国西部地域研究のお手伝いをいたします

当研究所では、寧夏大学（寧夏自治区銀川）、西北農林科技大学（陝西省楊凌）、青海大学（青海省西寧）、西南大学（重慶）、中国農業大学（北京）等、主に中国西部地域の大学の研究者とネットワークを結び、学術交流を行っています。このネットワークを利用し、中国研究や現地研修のお手伝いをいたします。

学内研究者の皆様のご利用をお待ちしております。

●業務内容：

- ・現地調査、研修のコーディネート（調査地との連絡、車やホテルの手配等）
- ・中国側研究者の紹介・マッチング
- ・中国で出版・発行された研究資料の入手 ・研究資料の翻訳（日⇔中） 等

●連絡方法：

研究テーマとご希望内容を、下記メールアドレスまでお知らせください。

●連絡先：neika_kenkyusho@soc.shimane-u.ac.jp（担当：田中）

中国西北地方の冬

寧夏は中国西北部の高原に位置しており、典型的な大陸性気候です。そのため春と秋が短く、10月中旬になると、街路樹の葉が落ち始め、11月には一面グレーの景色になります。気温もぐっと落ちるため、11月からは「暖気」というセントラルヒーティングの提供が始まります。



寧大内の「暖気」提供用炉

「暖気」は、建物内にお湯の流れるパイプを通し、その熱で室内を暖めるという構造で、外がどんなに寒くても室内は暖かいという北方の冬には欠かせないものですが、弊害もあります。それは大気汚染。以前は団地ごとに石炭を燃やしていたためひどい汚染でしたが、2017年頃から政府が力を入れ始め、住宅については、天然ガス等による集中供給に替わってきています。ただし、寧夏大学等規模が大きい組織は、現在でも独自に「暖気」提供を行っているそうです。設備が整っていない農村では、良質な石炭を使用すると補助金が支給される等、環境改善に向けた様々な努力がなされているようです。

※HPのコラムもどうぞ <http://www.ningxia.shimane-u.ac.jp/Neika-tenbyou.html>